

1. 三重県版アコヤタイムラインの目的

アコヤタイムラインとは、アコヤガイのへい死発生を想定し、「いつ、誰が、何をするか」を海水温で整理したもので、予測した海水温を基に事前のへい死軽減対策を実施し、被害を最小限に抑えることを目的としています。

2. 真珠養殖業者さんに行っていただきたいこと

常時

適正養殖管理マニュアル等に基づく

適正養殖管理の徹底

稚貝の変調やへい死があれば

水産研究所に通報

ステージ1（準備段階）：稚貝飼育を開始した時点
ストレス緩和対策に努める。

ストレス緩和対策：

深吊り。目合の大きなカゴへ収容。収容数の減少。沖で飼育。
ストレス作業を控える。振動緩和のため、超スロー航行。

ステージ2（早期警戒）：
予測海水温23℃以上あるいは1系統でも稚貝が50%以上へい死した業者さんが1件以上確認された場合
ストレス緩和対策を徹底する。

ステージ3（警戒）：
予測海水温28℃以上あるいは1系統でも稚貝が50%以上へい死した真珠養殖業者が10件以上確認された場合
貝にとってストレスとなる作業を中止。稚貝の漁場間の移動（特に湾をまたぐ移動）をしない。
へい死等調査への協力。 【注意】貝掃除やカゴ替え等、貝にとってストレスとなる作業であっても貝を触らないといけない場合は、この限りではありません。臨機応変な対応をお願いします。

緊急対応：所有稚貝全体の50%以上がへい死した組合員が組合に30%以上確認された場合
貝にとってストレスとなる作業を中止。稚貝の漁場間の移動しない。
へい死等調査への協力。